



営放連携マスターテロップシステム

GTO

提供テロップのイメージが変わる高い表現力と、使いやすさが魅力。
コンパクトなマスターテロップ自動作画システム。

営放システムからの指示に従いテロップを自動生成、VAFにファイルを出力。

GTO(ジーティーオー)は、ほぼ人の手を介さずにテロップ作成を実現するマスター用テロップシステムです。

アニメ・3D・ムービーも
自動で作画

シンプルな操作で
直感的に

ロゴデータを
簡単登録・一元管理

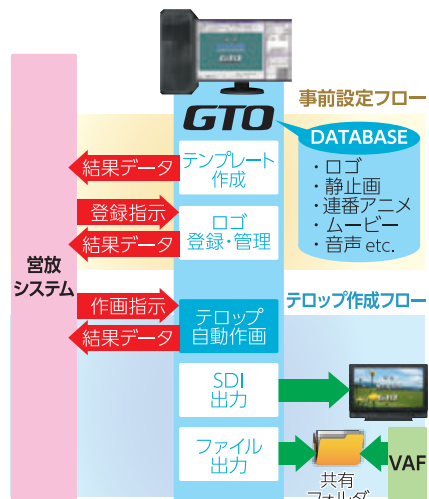
コンパクトに



簡単な作業で安全に。 マスターテロップの自動作画を実現。

GTOは営放システムと連携し、テンプレートの作成、スポンサーロゴの管理、テロップの自動作成からVAFへのファイル出力まで、マスター送出のテロップ作成業務をトータルサポートします。提供テロップはもちろん、おことわりテロップなどマスターで送出される様々なCGを扱えます。

自動作画後の微調整や承認作業も、誰にでもわかりやすい操作画面で行えます。効率的で安全なオペレーションを追求したシステムです。



自動作画のための効率的なフロー。

テロップの自動作画は、事前にロゴの社数や位置などをテンプレートとして作成し営放システムに登録、また営放システムからの発番指示に従い、GTOのデータベースに各社のロゴを登録することで実現します。

営放システムからテロップ作成指示を受けると、「全面2社」「右下3社」…といったテンプレートにロゴが配置され、自動で提供テロップが作成されます。作画されたテロップに対して、各ロゴのパラメータや装飾の微調整も簡単にできます。



ファイルベースでの出力に対応。

作成した提供テロップは、従来のベースバンドでの収録はもちろん、ファイルでも出力できます。株式会社東芝「VIDEOS neo」で取り込めるMXFファイルにも対応しています。

テンプレートは自由に作成可能。 多彩なエフェクトも設定できます。

テンプレートは作画ソフトで作成、追加ができません。使い勝手にこだわり、文字や図形の描画、色や装飾などの細かい設定も簡単にできる扱いやすいソフトウェアです。

テンプレートは静止画だけではなく、ターンやクロスフェードなどのエフェクトを設定することや、ロールテロップも扱えます。動き付きのCGも静止画と同じフローで自動作成されるので、従来のシステムでは難しかった多彩な表現を、CGスタッフの手を介さずに実現できます。



オプション リアル3D・HQコーデックムービー

さらに、3Dレンダリングエンジンによるリアル3D機能をオプション追加することができます。文字やオブジェクトの立体表現や、拡大縮小、曲線移動など3次元上の動きを実現できます。動きのサンプルが豊富に揃っているほか、フレーム単位の詳細なコントロールを行いテンプレートを作成することができます。

また、グラスパレー社のHQコーデックムービーファイルのインポートにも対応予定です。EDIUSで編集した動画を他のフォーマットに変換することなく、そのままテンプレートに使用できます。



ロゴデータの登録も簡単に。

ロゴの登録は、ロゴファイルをウィンドウにドラッグ＆ドロップするだけです。多くの汎用フォーマットに対応しているため、搬入されたロゴを変換することなくインポートできます。

モノクロのロゴには「黒エッジ」、カラーロゴには「白エッジ」や「エッジなし」などを判別し自動で装飾するルールを設定することができます。ロゴにゴミがないか確認できる「ゴミ表示ON/OFF機能」も搭載。ゴミと判断されるキーを自動削除することができます。



承認作業はPCプレビューで。

テロップが完成したら、VAFへ出力する前に承認を行います。承認画面では、テロップの属性情報(営放システムから指示を受けている情報)の一覧表示とともに、PCプレビューによる動き付きでの再生確認が行えます。

内容に間違いがないか確認し、「承認」ボタンを押した素材だけが出力の対象となります。



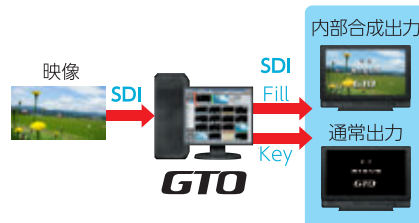
運用に合わせて、柔軟なシステム構成を。

GTOは構成もシンプルです。データサーバ・作画用端末・営放システムとのゲートウェイサーバを全て兼用し、テロップの作成からファイル出力まで、最少構成1台からの運用が行えます。

SDIによる出力状態の確認。

ベースバンド収録を行いたい場合は、SDI入力端子×1、SDI出力端子×2 (Fill/Key) に対応した入出力ボードを装着した送出装置をご提案することも可能です。

入力された映像を背景にして、テロップの表示位置の確認/調整が行える「内部合成出力モード」と、背景映像と合成せずテロップのFill/Keyを個別に確認する「通常出力モード」の切り替えができます。



オプション ネットワーク運用

また、運用に合わせて柔軟に構成を拡張することができます。例えば運用管理端末を追加して、別の作業場所からロゴの登録、テンプレートの作画、承認作業などを行うことができるネットワーク構成のご提案も可能です。

オプション アラーム監視端末

さらに、SDI出力を備えた端末の死活状態をリアルタイムに監視・確認を行うアラーム監視端末を追加することができます。

端末から応答がない場合や、異常情報を受信した際にアラームを発するなど、素早く障害の発生を知ることができます。

* 記載された内容は、改良のため予告なく変更することがあります。* 当カタログに記載の画像はイメージです。実際の画面、製品とは異なります。* NIXUSは日興通信株式会社の登録商標です。* 「VIDEOS neo」は株式会社東芝の商標です。* EDIUSはグラスパレー株式会社の登録商標です。* その他記載された会社名、製品名等は各社の登録商標または、商標です。